# 市産市消

## ICI のお祭 りに足を運ぼう ま

### 3年ぶりの 第53回 沼津農林まつり 12.18 9:00~14:00 沼津御用邸記念公園

沼津農林まつりは、毎年12月に市内の農林畜産物の紹介と、地産地消への理解と普及を 図り、農林業の振興を目的に行われる、東部地区有数の農林業イベントです。大人から子供 まで幅広く楽しめる内容になっていますので、ぜひお越しください。

内容 農産物の即売、物産販売、各種ステージ、沼津特産品ブース、沼津茶特設コーナー 近隣 JA 特産品販売、お楽しみ大抽選会他

※大抽選会への参加には、本ページの下にある抽選券が必要です。

#### いつもと一緒だけど、いつもと違う。

#### 特別な沼津茶を味わいませんか?

#### 煎茶体験



校煎茶部の生徒が淹れた煎茶を味わうこ とができます。

ところ 翠松亭

専門家から指導を受けた、加藤学園高

**時 間** 10 時~ 14 時

※当日、直接会場へどうぞ。

#### 急須で和紅茶を楽しむ会



日本茶インストラクター沼津支部の会 員の丁寧な指導のもと、和紅茶の美味し い淹れ方を学ぶことができます。

時 間 10 時~ 14 時 ところ 東附属邸学問所

駐車場には限りがあります。**当日は JA ふじ伊豆本店(下香貫字上障子 415-1)及び 志下海岸臨時駐車場から無料シャトルバスを運行します**ので、こちらに駐車いただくか、 公共交通機関をご利用ください。

必要事項をご記入の上、当日こちらを抽選会受付にご提出ください。1家族1枚の提出として ください。

			第 53 回沼津農林まつり	お楽しみ大抽選会抽選券		
ふりがな					(同行者 本人含む)	
<b>大</b> 名					人	
住所	<del>-</del> -			電話者	電 話 番 号	
				_	_	

**個農林農地課** 

市では、長年にわたりひとつの職業に従事する職人のみなさ んを、技能功労者としてその功績を称えています。今年度、受 賞された鳶職や製菓技術師など15人のみなさんを紹介します。

お知らせ

T

沼津市

技能

功労者の表彰

沼津が誇る熟練の技

製菓技術師

脇屋 博明 真覚 賢一 (江原町) 整備士

市川嘉津夫 (大岡) 大石 裕司 (岡宮) 千秋 (沼北町) 土屋 保衛 (今沢)

氏家 孝 (五月町) 藤原 義雄 (下香貫木ノ宮) (香貫が丘)

倉田 純一 (住吉町) 竹垣 佳雄 (新宿町) ※敬称は省略しています。

高橋 典雅 (御幸町)

セキュリティエンジニア

遠藤 雅巳 (獅子浜)

飯沼 清史 (大手町)

土屋 雅徳 (下香貫八重)

大型特殊車両運転手

表彰を受けたみなさん、おめでとうございます。

水産物加工職

#### 受賞者の喜びの声



美容師

岡宮でフランス料理店「シェ・グランピェール」を営む大石裕司さん。 料理を食べたお客様を笑顔にしたいという想いから調理師を続けてきた 大石さんから、喜びの声と今後の目標等を伺いました。

#### 沼津市技能功労者に選ばれて

大石さんは、フランスに渡り3年間修行 を積み、東京のホテルで働いた後、地元で ある沼津に戻り、店を開いて現在に至りま す。沼津での経営は45年目を迎えます。

「好きでやってきたから苦になったこと はありません。足を運んでくれるお客様あ ってこその賞だと思っています。賞を頂く ことができてとても嬉しく思います」と話 してくれます。



#### こだわりを持って働く

大石さんは、フランス料理に和のテイス トを加えたり、地元の食材を使う等、工夫を して料理を作っているそうです。「地産地消 で地元にも貢献できるし、なにより、このあ たりの野菜は土が良いのもあって美味しい ので、食材はできるだけ地元のものを使い ます。お客様にも地元の野菜の良さを知っ

て欲しい」と話す大石さんからは食へのこ だわりと地元への愛が伝わってきました。

現在、大石さんは娘の花奈子さんと二人 三脚でお店を営んでいます。花奈子さんは デザートで料理に彩りを加えています。花 奈子さんも同じくフランスで学んだプロの 菓子職人です。大石さんの料理へのこだわ りとお客様を大切に想う気持ちは、花奈子 さんにもしっかりと引き継がれています。

#### これまでの気持ちをこれからも

常連のお客様が多いこの店では、他店の 料理人も来店されるそうです。そんな愛さ れている店が続くのも大石さんの想いが料 理に表れ、食べる人に伝わっているからで はないでしょうか。大石さんは、「お店に 来ていただいたお客様に喜んでもらえるよ う、これまで通り料理を作り続けたいです」 と熱い気持ちを語ってくれました。



**個商工振興課** 

広報ぬまづ2022.12.1 号 / 8 広報ぬまづ2022.12.1 号